



10月11日(金)砂防堰堤の役割や砂防事業の必要性への理解を深めることを目的に、全国治水砂防協会立山支部が開催する視察歩行会が開催されました。参加者は、天鳥トンネルから白岩砂防堰堤までの工事用道路約10kmを歩き、立山砂防事務所の職員が解説を行いました。

また、今年は常願寺川で観測史上最大洪水である昭和44年8月災害から50年となることから、立山で行われている砂防事業についての解説に参加者が熱心に耳を傾けていました。

開催日：令和元年10月11日(金)
主催：全国治水砂防協会 立山支部(立山町・富山市・舟橋村)
後援：富山県治水砂防協会
協力：立山砂防事務所
参加者：一般参加者、行政参加者 計53名



舟橋支部長(立山町長)ご挨拶



開会式



西塔副所長(事務)ご挨拶



トロッコ乗車



天鳥トンネル上流
(徒歩移動)



桑谷上流砂防堰堤



七郎砂防堰堤



鬼ヶ城砂防堰堤



妙寿砂防堰堤



サブ谷砂防堰堤



真川・湯川合流点



白岩砂防堰堤



多枝原平展望台



天涯の水



六九谷展望台
(バス移動)